



投資型年金保険

ベストツインズ

のび太とふえ太

保証金額付特別勘定年金特約(終身型)付変額個人年金保険(06)

特別勘定（世界分散型20MU（510）） 四半期運用レポート

2014年1月～2014年3月

お知らせ

平成26年4月1日から、消費税率が5%から8%に引き上げられることから、資産運用関係の費用を変更させていただきます。9ページの「運用関係費」をご確認ください。



【利用する投資信託の委託会社】三菱UFJ投信株式会社

三菱UFJ投信株式会社は、2005年10月の合併により、幅広い商品ラインアップと充実した販売網、そして様々な商品カテゴリーに対応できる運用体制を確立いたしました。

引き続き、広くお客さまのニーズと信頼にお応えし、質の高い運用とサービスを誠実にご提供することを目指して参ります。

- ・アクサ生命保険株式会社の「保証金額付特別勘定年金特約(終身型)付変額個人年金保険(06)」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- ・当資料は、アクサ生命保険株式会社の「保証金額付特別勘定年金特約(終身型)付変額個人年金保険(06)」の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険の募集を目的としたものではありません。
- ・当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・商品内容の詳細については「契約締結前交付書面(契約概要/注意喚起情報)」、「商品パンフレット」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- ・当資料に記載されている各表にある金額、比率、ファンドの資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等をしているので、合計等と合致しないことがあります。

保証金額付特別勘定年金特約(終身型)付変額個人年金保険(06) 特別勘定の四半期運用レポート(2014年1月~2014年3月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・当ページは、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき、アクサ生命保険株式会社が作成し提供するものです。情報の内容に関しては万全を期しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。

運用環境 [2014年1月~2014年3月]

【日本株式市場】

日本株式市場は、TOPIX(東証株価指数)が前期末比7.63%下落の1,202.89ポイントで終了しました。

1月は、一部の新興国の経済や通貨に対する懸念が強まり米国株式市場が下落したことを受けて、大幅に下落しました。2月は、米国の1月の失業率が改善したことなどから上昇する一方、中国の経済指標の悪化などを背景に下落するなどともみ合いとなりました。3月は、中国の景気減速懸念やウクライナ情勢の緊迫化などから下落した後、米国の一部の経済指標が改善したことなどを背景に上昇に転じました。

業種別(東証33業種)では、羽田空港の国際線発着枠拡大で運行規模拡大が期待される「空運業」(前期末比+1.59%)が最も上昇した一方、追加金融緩和期待の後退から「その他金融業」(同-19.22%)が最も下落しました。

【外国株式市場】

米国株式市場は、1月、低調な雇用統計や、新興国経済の先行き不透明感を背景にリスク回避の動きが強まったことなどから大幅に下落しました。2月は、イエレンFRB(米連邦準備制度理事会)議長の発言により金融政策の継続性が確認されたことや、1月の新築住宅販売件数が改善したことなどから反発しました。3月は、中国の景気減速懸念やウクライナ情勢の緊迫化などから下落した後、ウクライナ情勢に対する警戒感の一服や景況感指標の改善などから上昇しましたが、期を通して見ると、NYダウは、前期末比0.72%下落の16,457.66ドルで終了しました。

欧州株式市場は、1月、米国で12月の小売売上高が増加したことなどから上昇した後、新興国経済の先行き不透明感を背景にリスク回避の動きが強まったことなどから下落しました。2月は、ユーロ圏10-12月期GDP(国内総生産)速報値やiio経済研究所が発表した2月の景況指数が市場予想を上回ったことなどから上昇しました。3月は、ウクライナ情勢の緊張が高まったことなどから下落した後、欧米諸国のロシアへの制裁措置の影響は限定的との見方などから上昇しました。市場別騰落率は、英FT100は前期末比2.23%下落、仏CAC40は同2.22%上昇、独DAXは同0.04%上昇となりました。

【日本債券市場】

日本債券市場は、1月、米国の金利低下や国内株式市場の下落などを受けて、金利は大幅に低下(価格は上昇)しました。2月は、国債需給の逼迫や米国の金利低下などを受けてさらに低下しました。3月は、国内株式市場の下落や、需給の緩みが意識され債券先物の売りが強まったことなどを材料にもみ合い、新築10年国債利回りは0.640%となりました(前期末は0.735%)。

日銀はマネタリーベースが年間約60~70兆円に相当するペースで増加するよう金融市場調節を行いました。無担保コール(翌日物)は0.1%程度の水準で推移しました。

【外国債券市場】

米国債券市場は、1月、低調な雇用統計や新興国通貨の下落などを受けて、金利は大幅に低下(価格は上昇)しました。2月は、イエレンFRB議長の発言により金融政策の継続性が確認されたことなどから上昇(価格は下落)した後、ウクライナ情勢の不透明感などから低下しました。3月は、好調な国債入札結果などを受けて低下する一方、雇用統計で非農業部門の雇用者数が市場予想以上に増加したことなどから上昇するなどともみ合いで推移し、米10年国債利回りは2.718%となりました(前期末は3.028%)。

欧州債券市場は、1月、低調な米雇用統計やユーロ圏消費者物価指数などを受けて、金利は大幅に低下(価格は上昇)しました。2月は、ECB(欧州中央銀行)理事会で金融政策が据え置かれたことなどから上昇(価格は下落)する場面もありましたが、ウクライナ情勢への懸念が高まったことなどから低下しました。3月は、米国の利上げ開始時期の前倒し観測の強まりなどから上昇する一方、ウクライナ情勢の緊迫化やECBの追加緩和観測などを背景に低下するなどともみ合いで推移し、独10年国債利回りは1.566%となりました(前期末は1.929%)。

FRB(米連邦準備制度理事会)は、FF(フェデラル・ファンド)金利の誘導目標を据え置き、年0.0~0.25%を維持しました。ECB(欧州中央銀行)は政策金利を据え置き、年0.25%を維持しました。

【外国為替市場】

米ドル/円相場は、1月、中国の景況感悪化や新興国通貨の下落などを背景に、リスク回避の動きが強まったことなどから円高が進行しました。2月、3月は、ウクライナ情勢や、イエレンFRB議長の発言により金融政策の継続性が確認されたこと、米国の利上げ時期が早まるとの見方が強まったことなどを材料にもみ合い、円は対ドルで前期末比2円47銭(2.34%)円高ドル安の1ドル=102円92銭となりました。

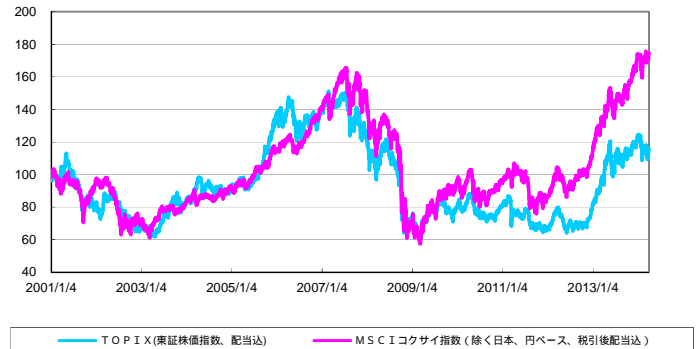
ユーロ/円相場は、1月、ECB総裁が低金利政策を長期化する見通しを強調したことや、新興国市場に対する警戒感などから円高が進行しました。2月は、ECBが金融政策を据え置いたことや、日本銀行による貸出支援基金の延長・拡充の決定などを受けて円安となりました。3月は、円安で推移後、ウクライナ情勢の緊迫化などから円高となる一方、欧米諸国のロシアへの制裁措置の影響は限定的との見方などから円安となるなどともみ合いとなり、円は対ユーロで前期末比3円40銭(2.34%)円高ユーロ安の1ユーロ=141円65銭となりました。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1 17 3
TEL:0120 153 193
アクサ生命株式会社 http://www.axa.co.jp/

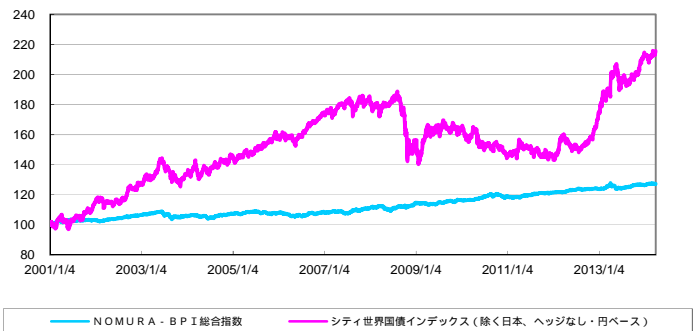
日本と外国の株式市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。

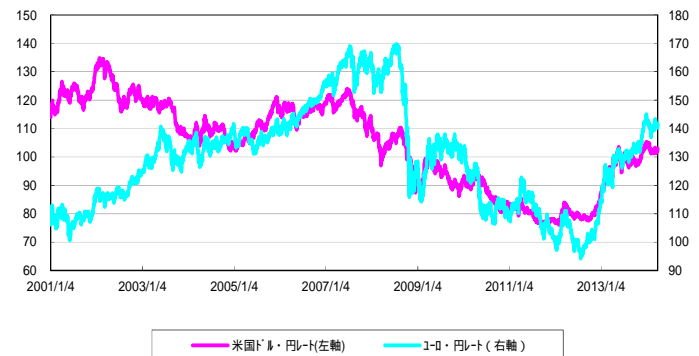


日本と外国の債券市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。



外国為替市場の推移



出所:株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値

【取扱者(生命保険募集人)】

株式会社三菱東京UFJ銀行

保証金額付特別勘定年金特約(終身型)付変額個人年金保険(06) 特別勘定の四半期運用レポート (2014年1月~2014年3月)

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社である三菱UFJ投信株式会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定の運用状況 [2014年3月末日現在]

特別勘定名	利用する投資信託の運用方針
世界分散型20MU(510)	当ファンドは、TOPIXマザーファンド受益証券10%、日本債券インデックスマザーファンド受益証券40%、外国株式インデックスマザーファンド受益証券10%、およびMUAMヘッジ付外国債券オープンマザーファンド受益証券40%を標準資産配分とし、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。
利用する投資信託	各受益証券の時価変動による標準資産配分からの乖離については、1か月に1回程度リバランスを行い、これを修正し、標準資産配分を維持します。
三菱UFJ バランスファンドVA 20型 (適格機関投資家限定)	当ファンドの主なリスク ・市場リスク(価格変動リスク)(為替変動リスク) ・信用リスク ・流動性リスク

特別勘定のユニットプライスの推移

特別勘定のユニットプライスは、各特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



特別勘定の ユニットプライス	騰落率(%)		
2014年3月末	99.50	過去1ヵ月	▲0.07
2014年2月末	99.56	過去3ヵ月	0.13
2014年1月末	99.03	過去6ヵ月	1.93
2013年12月末	99.37	過去1年	3.31
2013年11月末	99.37	過去3年	11.49
2013年10月末	98.51	設定来	▲0.50

・世界分散型20MU(510)の特別勘定のユニットプライスは、特別勘定の設定日(2007年1月29日)を100.00として計算しております。
・騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する今月末のユニットプライスの変動率を表しています。

特別勘定資産の内訳

項目	世界分散型20MU(510)	
	金額(千円)	比率(%)
その他有価証券	3,821,909	96.6
現預金・その他	135,892	3.4
合計	3,957,801	100.0

・特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。
・金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しております。

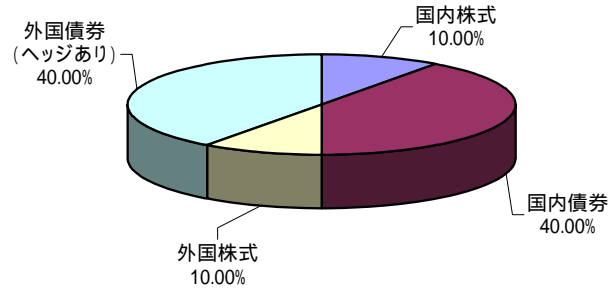
保証金額付特別勘定年金特約(終身型)付変額個人年金保険(06) 特別勘定の四半期運用レポート(2014年1月~2014年3月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社である三菱UFJ投信株式会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、三菱UFJ投信株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

三菱UFJ バランスファンドVA 20型(適格機関投資家限定)の運用状況 [2014年3月末日現在]

ファンドの特色

<標準資産配分>



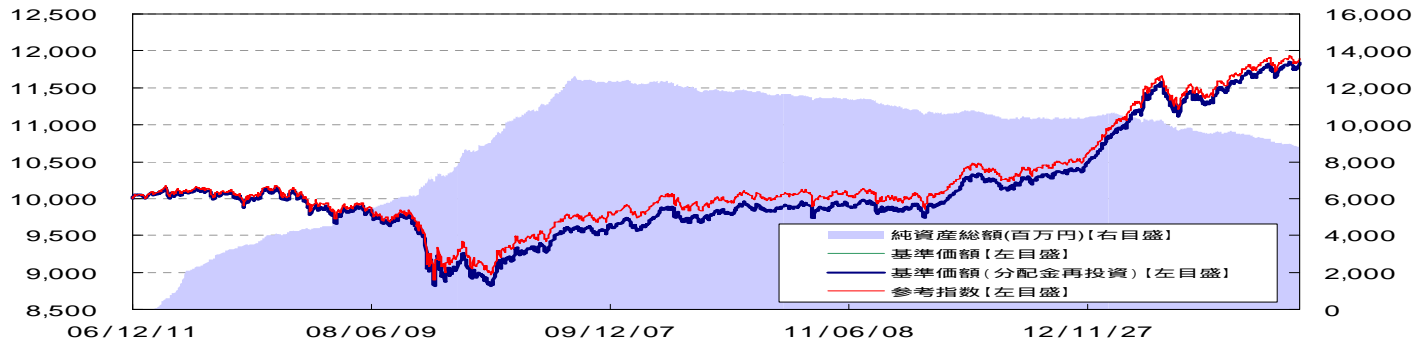
TOPIXマザーファンド受益証券、日本債券インデックスマザーファンド受益証券、外国株式インデックスマザーファンド受益証券およびMUAM ヘッジ付外国債券オープンマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。

TOPIXマザーファンド受益証券10%、日本債券インデックスマザーファンド受益証券40%、外国株式インデックスマザーファンド受益証券10%およびMUAM ヘッジ付外国債券オープンマザーファンド受益証券40%を標準資産配分とし、これを維持します。

各受益証券の時価変動による標準資産配分からの乖離については、1か月に1回程度リバランスを行い、これを修正します。なお、リバランスに必要な資金を確保するため、保有する受益証券の一部を解約し、短期金融資産による運用とする場合があります。

基準価額の推移

ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニットプライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



- グラフは、三菱UFJ バランスファンドVA 20型(適格機関投資家限定)の設定日(2006年12月11日)の前営業日を10,000として指数化しています。
- 基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率0.294%*(税抜0.28%))控除後の値です。*2014年4月1日以降年率0.3024%
- 基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
- 参考指数は、東証株価指数(TOPIX)10%、NOMURA - BPI総合インデックス40%、MSCI Kokusai Index(MSCIコクサイインデックス)(円換算ベース)10%およびシティ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)40%で組み合わせた合成指数です。

概況

	2014/3/31	前月末	前月末比
基準価額	11,834円	11,818円	+16円
純資産総額(百万円)	8,790	8,974	-184

	基準価額	日付
設定来高値	11,853円	2014/3/7
設定来安値	8,810円	2009/3/10

騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	0.14%	0.72%	3.15%	5.77%	19.74%	18.34%
参考指数	0.02%	0.51%	2.91%	5.34%	18.58%	19.01%
差	0.12%	0.22%	0.23%	0.43%	1.16%	-0.67%

・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。
また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りとは異なります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

資産構成

	標準資産配分	ファンドの資産構成
国内株式	10.00%	10.21%
国内債券	40.00%	39.66%
外国株式	10.00%	10.06%
外国債券(ヘッジあり)	40.00%	39.80%
短期金融資産	0.00%	0.27%
合計	100.00%	100.00%

- ・ファンドの資産構成は当ファンドに組み入れている実質的な資産の比率(純資産総額比)。
- ・計理処理の仕組み上、直近の追加設定分が反映されないことなどにより「短期金融資産」の値がマイナスで表示されることがあります。
- (注)REITの組み入れがある場合、REITは株式に含めて表示しています。

分配金実績(税引前)

	直前期	2期前	3期前	4期前	5期前	6期前	設定来累計
決算日	2014/2/20	2013/2/20	2012/2/20	2011/2/21	2010/2/22	2009/2/20	
分配金	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円

・1万口当たりの税引前分配金実績です。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1 17 3
TEL: 0120 153 193
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

【取扱者(生命保険募集人)】

株式会社三菱東京UFJ銀行

保証金額付特別勘定年金特約(終身型)付変額個人年金保険(06) 特別勘定の四半期運用レポート(2014年1月~2014年3月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社である三菱UFJ投信株式会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、三菱UFJ投信株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

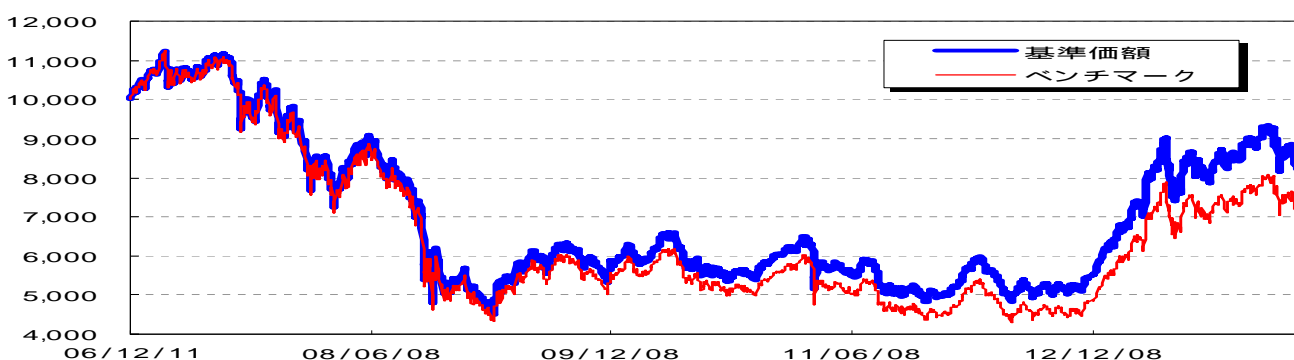
マザーファンド(TOPIXマザーファンド)の運用状況 [2014年3月末日現在]

マザーファンド(TOPIXマザーファンド)の特色

- 東京証券取引所第一部に上場されている株式を主要投資対象とし、ベンチマークである東証株価指数(TOPIX)と連動する投資成果を目指した運用を行います。
- 東証株価指数(TOPIX)から乖離するリスクと運用コストの極小化を目的として、定量的なリスク管理に基づいたポートフォリオ構築と適切な売買執行を行います。
- 株式の実質投資比率(組入現物株式の時価総額に株価指数先物取引等の買建額を加算し、または株価指数先物取引等の売建額を控除した額の信託財産の純資産総額に対する割合をいいます。)は原則として高位を維持します。ただし、ベンチマークとの連動を維持するため、実質投資比率を引き下げる、あるいは実質投資比率を100%以上に引き上げる運用指図を行うことがあります。

基準価額の推移【ベンチマークは、東証株価指数(TOPIX)です】

ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニットプライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



- グラフは、三菱UFJバランスファンドVA 2.0型(適格機関投資家限定)の設定日(2006年12月11日)の前営業日を10,000として指数化しています。
- 東証株価指数(TOPIX)とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。TOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

資産構成

	2014/3/31	前月末	前月末比
実質国内株式組入比率	100.03%	100.03%	0.00%
内 現物	97.96%	98.93%	-0.97%
内 先物	2.07%	1.10%	0.97%

・比率は純資産総額に対する割合です。

株式組入上位10銘柄

(組入銘柄数: 1781 銘柄)

	銘柄	ファンド	ベンチマーク
1	トヨタ自動車	4.65%	4.74%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	2.43%	2.48%
3	ソフトバンク	2.17%	2.21%
4	三井住友フィナンシャルグループ	1.89%	1.93%
5	ホンダ	1.87%	1.91%
6	みずほフィナンシャルグループ	1.50%	1.53%
7	日本電信電話	1.25%	1.28%
8	ファナック	1.16%	1.19%
9	JT	1.15%	1.18%
10	武田薬品工業	1.10%	1.12%

・比率は純資産総額に対する割合です。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	0.23%	-6.70%	1.86%	18.60%	47.93%	-13.09%
ベンチマーク	-0.72%	-7.63%	0.74%	16.25%	38.36%	-25.58%
差	0.95%	0.93%	1.12%	2.34%	9.57%	12.49%

- 騰落率は、三菱UFJバランスファンドVA 2.0型(適格機関投資家限定)の設定日以降の期間を対象に表示しています。
- 設定来の騰落率は、三菱UFJバランスファンドVA 2.0型(適格機関投資家限定)の設定日(2006年12月11日)の前営業日を起点として計算しています。

株式組入上位10業種

	業種	ファンド	ベンチマーク
1	電気機器	12.67%	12.67%
2	輸送用機器	11.76%	11.76%
3	銀行業	9.35%	9.35%
4	情報・通信業	7.31%	7.31%
5	化学	5.43%	5.43%
6	機械	5.19%	5.20%
7	卸売業	4.63%	4.63%
8	医薬品	4.59%	4.59%
9	小売業	4.27%	4.27%
10	食料品	3.94%	3.94%

・比率は現物株式評価額に対する割合です。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1 17 3
TEL: 0120 153 193
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

【取扱者(生命保険募集人)】

株式会社三菱東京UFJ銀行

保証金額付特別勘定年金特約(終身型)付変額個人年金保険(06) 特別勘定の四半期運用レポート(2014年1月~2014年3月)

当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社である三菱UFJ投信株式会社の裁量の範囲外となります。
 当ページは、三菱UFJ投信株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

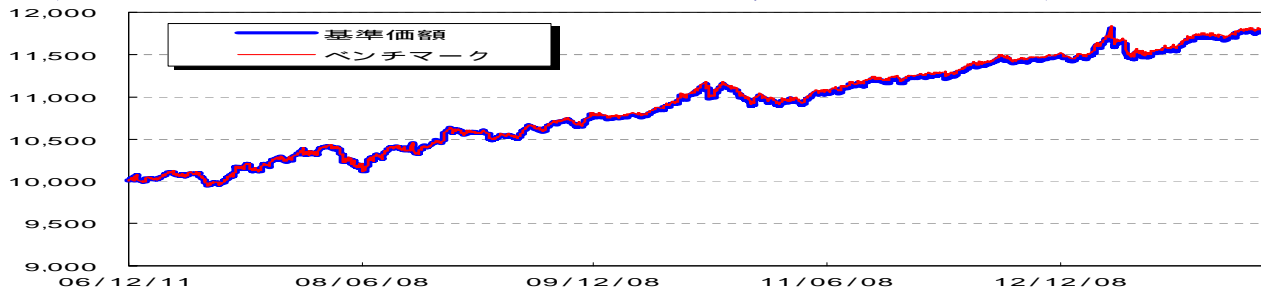
マザーファンド(日本債券インデックスマザーファンド)の運用状況 [2014年3月末日現在]

マザーファンド(日本債券インデックスマザーファンド)の特色

- ・NOMURA - BPI総合インデックスに採用されている公社債を主要投資対象とし、ベンチマークであるNOMURA - BPI総合インデックスと連動する投資成果を目指した運用を行います。
- ・銘柄選択は、運用モデルを活用して行います。
- ・公社債の実質投資比率(組入現物公社債の時価総額に債券先物取引等の買建額を加算し、または債券先物取引等の売建額を控除した額の信託財産の純資産総額に対する割合をいいます。)は原則として高位を維持します。ただし、ベンチマークとの連動を維持するため、実質投資比率を引き下げる、あるいは実質投資比率を100%以上に引き上げる運用指図を行うことがあります。

基準価額の推移【ベンチマークは、NOMURA - BPI総合インデックスです】

ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニットプライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



・グラフは、三菱UFJ バランスファンドVA 2.0型(適格機関投資家限定)の設定日(2006年12月11日)の前営業日を10,000として指数化しています。
 ・NOMURA - BPI総合インデックスは野村證券株式会社が公表している指数で、野村證券株式会社の知的財産です。野村證券株式会社は、当ファンドの運用成果等に関し、一切関係ありません。

資産構成

	2014/3/31	前月末	前月末比
実質国内債券組入比率	99.88%	100.00%	-0.12%
内 現物	99.56%	99.89%	-0.34%
内 先物	0.32%	0.11%	0.21%

騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-0.23%	0.79%	0.95%	0.56%	7.36%	17.51%
ベンチマーク	-0.23%	0.77%	0.96%	0.58%	7.39%	17.83%
差	0.00%	0.01%	-0.01%	-0.02%	-0.03%	-0.32%

・騰落率は、三菱UFJ バランスファンドVA 2.0型(適格機関投資家限定)の設定日以降の期間を対象に表示しています。
 ・設定来の騰落率は、三菱UFJ バランスファンドVA 2.0型(適格機関投資家限定)の設定日(2006年12月11日)の前営業日を起点として計算しています。

公社債組入上位10銘柄

(組入銘柄数: 846 銘柄)

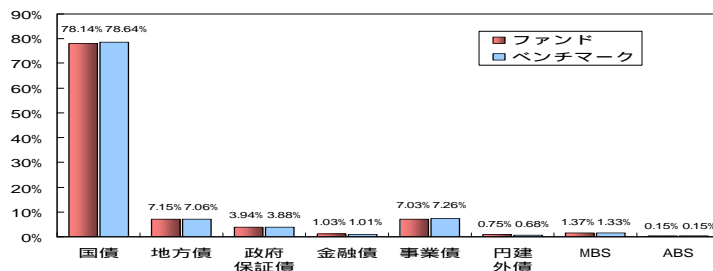
	銘柄	種別	クーポン	償還日	比率
1	第116回利付国債(5年)	国債	0.200%	2018/12/20	1.53%
2	第285回利付国債(10年)	国債	1.700%	2017/3/20	1.47%
3	第281回利付国債(10年)	国債	2.000%	2016/6/20	1.21%
4	第332回利付国債(10年)	国債	0.600%	2023/12/20	1.20%
5	第329回利付国債(10年)	国債	0.800%	2023/6/20	1.15%
6	第287回利付国債(10年)	国債	1.900%	2017/6/20	1.15%
7	第284回利付国債(10年)	国債	1.700%	2016/12/20	1.14%
8	第276回利付国債(10年)	国債	1.600%	2015/12/20	1.11%
9	第106回利付国債(5年)	国債	0.200%	2017/9/20	1.06%
10	第325回利付国債(10年)	国債	0.800%	2022/9/20	1.06%

ポートフォリオプロフィール

	ファンド	ベンチマーク
残存年数	8.87年	8.47年
修正デュレーション	7.67年	7.62年
複利利回り	0.56%	0.56%

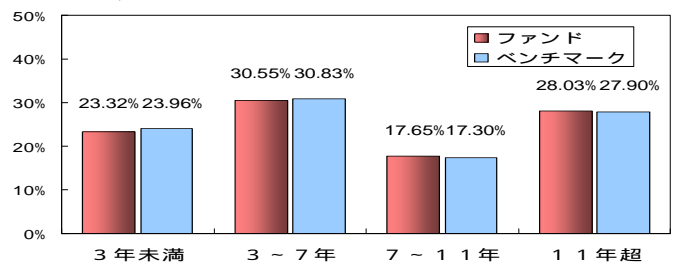
・数値は、債券現物部分について計算しています。
 ・「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
 ・修正デュレーション調整のため、債券先物を組み入れることがあります。この場合、修正デュレーションについては債券先物を含めて計算しています。
 ・「複利利回り」とは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
 ・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。

公社債種別構成比



・比率は純資産総額に対する割合です。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

公社債残存別構成比



【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
 〒108-8020 東京都港区白金1 17 3
 TEL: 0120 153 193
 アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

【取扱者(生命保険募集人)】

株式会社三菱東京UFJ銀行

保証金額付特別勘定年金特約(終身型)付変額個人年金保険(06) 特別勘定の四半期運用レポート(2014年1月~2014年3月)

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知ください。
 ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社である三菱UFJ投信株式会社の裁量の範囲外となります。
 ・当ページは、三菱UFJ投信株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

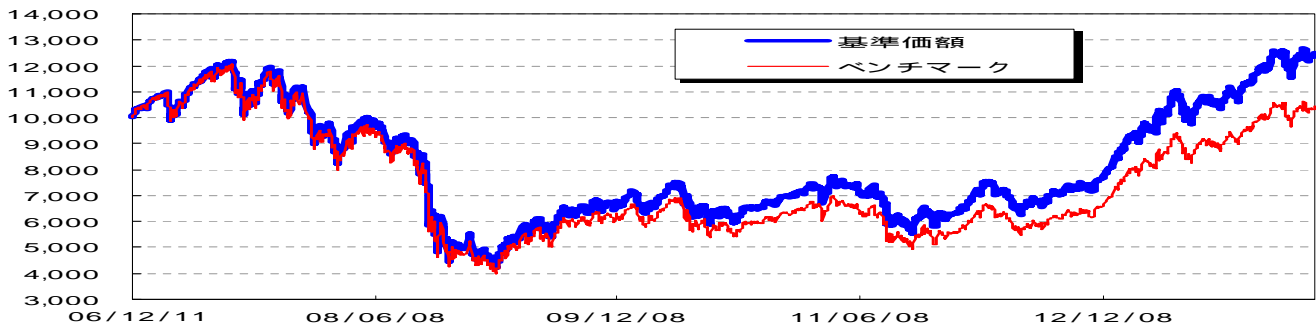
マザーファンド(外国株式インデックスマザーファンド)の運用状況 [2014年3月末日現在]

マザーファンド(外国株式インデックスマザーファンド)の特色

・MSCI Kokuasai Index(MSCIコクサイインデックス)(円換算ベース)に採用されている株式を主要投資対象とし、ベンチマークであるMSCI Kokuasai Index(MSCIコクサイインデックス)(円換算ベース)と連動する投資成果を目指した運用を行います。
 ・銘柄選択は、運用モデルを活用して行います。また、組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。
 ・株式の実質投資比率(組入現物株式の時価総額に株価指数先物取引等の買建額を加算し、または株価指数先物取引等の売建額を控除した額の信託財産の純資産総額に対する割合をいいます。)は原則として高位を維持します。ただし、ベンチマークとの連動を維持するため、実質投資比率を引き下げる、あるいは実質投資比率を100%以上に引き上げる運用指図を行うことがあります。

基準価額の推移【ベンチマークは、MSCI Kokuasai Index(MSCIコクサイインデックス)(円換算ベース)です】

ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニットプライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



・グラフは、三菱UFJ バランスファンドVA 2.0型(適格機関投資家限定)の設定日(2006年12月11日)の前営業日を10,000として指数化しています。
 ・MSCI Kokuasai Index(MSCIコクサイインデックス)(円換算ベース)は、MSCI Kokuasai Index(MSCIコクサイインデックス)(米ドルベース)をもとに、委託会社が計算したものです。また、MSCI Kokuasai Index(MSCIコクサイインデックス)に対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

資産構成

	2014/3/31	前月末	前月末比
実質外国株式組入比率	99.93%	99.01%	0.92%
内 現物	98.87%	97.86%	1.01%
内 先物	1.07%	1.15%	-0.08%

・比率は純資産総額に対する割合です。

騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	1.07%	-0.57%	15.28%	31.10%	68.01%	25.33%
ベンチマーク	0.88%	-1.21%	14.06%	28.02%	55.85%	4.67%
差	0.20%	0.64%	1.22%	3.08%	12.16%	20.66%

・騰落率は、三菱UFJ バランスファンドVA 2.0型(適格機関投資家限定)の設定日以降の期間を対象に表示しています。
 ・設定来の騰落率は、三菱UFJ バランスファンドVA 2.0型(適格機関投資家限定)の設定日(2006年12月11日)の前営業日を起点として計算しています。

株式組入上位10銘柄

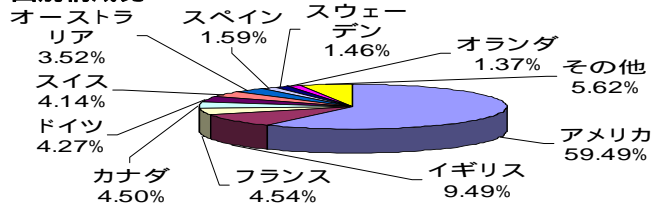
(組入銘柄数: 1291 銘柄)

銘柄	国名	業種	ファンド	ベンチマーク
1 APPLE INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェア・機器	1.63%	1.65%
2 EXXON MOBIL CORP	アメリカ	エネルギー	1.44%	1.45%
3 MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.08%	1.09%
4 GOOGLE INC-CL A	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.04%	1.06%
5 JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	医薬品・バイオテクノ・ライフ	0.93%	0.94%
6 GENERAL ELECTRIC CO	アメリカ	資本財	0.88%	0.89%
7 WELLS FARGO & CO	アメリカ	銀行	0.83%	0.84%
8 NESTLE SA-REG	スイス	食品・飲料・タバコ	0.81%	0.82%
9 CHEVRON CORP	アメリカ	エネルギー	0.77%	0.78%
10 JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ	銀行	0.76%	0.77%

・比率は純資産総額に対する割合です。

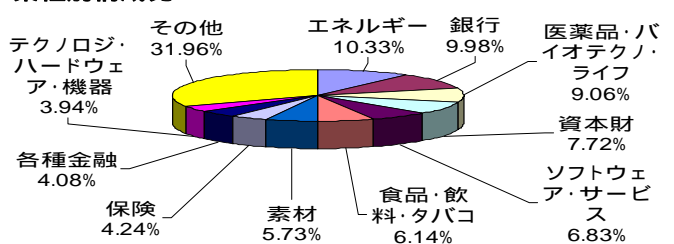
(注) 当ページの比率につき、REITの組み入れがある場合、REITは株式に含めて表示しています。
 ・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

国別構成比



・比率は現物株式評価額に対する割合です。
 ・国名は、投資対象銘柄の主要取引所国を表しています。

業種別構成比



・比率は現物株式評価額に対する割合です。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
 〒108-8020 東京都港区白金1 17 3
 TEL: 0120 153 193
 アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

【取扱者(生命保険募集人)】 株式会社三菱東京UFJ銀行

保証金額付特別勘定年金特約(終身型)付変額個人年金保険(06) 特別勘定の四半期運用レポート(2014年1月~2014年3月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社である三菱UFJ投信株式会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、三菱UFJ投信株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

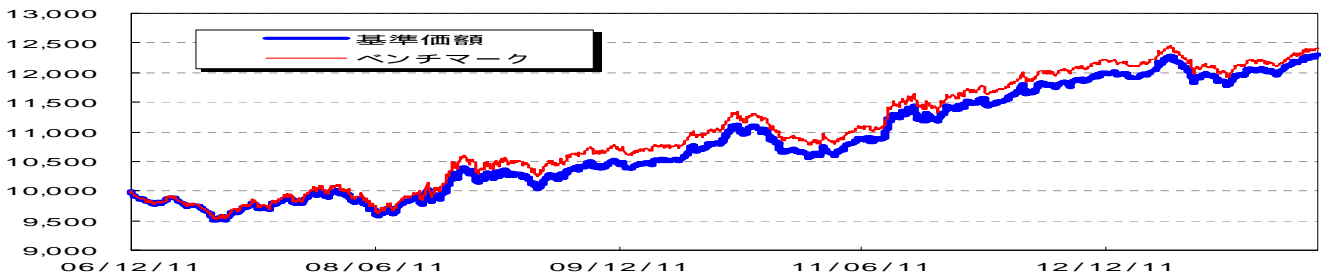
マザーファンド(MUAM ヘッジ付外国債券オープンマザーファンド)の運用状況 [2014年3月末日現在]

マザーファンド(MUAM ヘッジ付外国債券オープンマザーファンド)の特色

- 世界主要国の公社債(日本を除く)を主要投資対象とし、ベンチマークであるシティ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)を中長期的に上回る投資成果を目指して運用を行います。
- 運用にあたっては、クオンツモデルを活用することにより主要国の各債券市場を分析し、債券の残存期間構成戦略を超過収益の源泉とします。また、為替変動リスクを回避するため、原則としてフルヘッジを行います。
- 株式への投資は、転換社債および転換社債型新株予約権付社債の転換等により取得したものに限りです。

基準価額の推移【ベンチマークは、シティ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)です】

ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニットプライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



- グラフは、三菱UFJ バランスファンドVA 2.0型(適格機関投資家限定)の設定日(2006年12月11日)を10,000として指数化しています。
- シティ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)とは、シティグループ・グローバル・マーケット・インクが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合投資利回りを各市場の時価総額で加重平均し指数化した債券インデックスです。

資産構成

	2014/3/31	前月末	前月末比
実質外国債券組入比率	99.69%	98.99%	0.70%
内 現物	99.69%	98.99%	0.70%
内 先物	0.00%	0.00%	0.00%

比率は純資産総額に対する割合です。

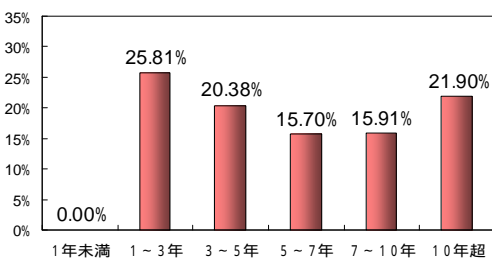
公社債組入上位10銘柄

(組入銘柄数: 89 銘柄)

順位	銘柄	種別	クーポン	償還日	国名	比率
1	4.5 T-NOTE 151115	国債	4.500%	2015/11/15	アメリカ	7.14%
2	4.875 T-NOTE 160815	国債	4.875%	2016/8/15	アメリカ	5.01%
3	4.75 T-NOTE 170815	国債	4.750%	2017/8/15	アメリカ	4.22%
4	4 T-NOTE 180815	国債	4.000%	2018/8/15	アメリカ	3.53%
5	3.625 T-NOTE 200215	国債	3.625%	2020/2/15	アメリカ	3.28%
6	4.25 SPAIN GOVT 161031	国債	4.250%	2016/10/31	スペイン	2.87%
7	3.25 O.A.T 211025	国債	3.250%	2021/10/25	フランス	2.84%
8	3.625 T-NOTE 190815	国債	3.625%	2019/8/15	アメリカ	2.47%
9	2.5 T-NOTE 150430	国債	2.500%	2015/4/30	アメリカ	2.36%
10	4.25 O.A.T 190425	国債	4.250%	2019/4/25	フランス	2.33%

比率は純資産総額に対する割合です。

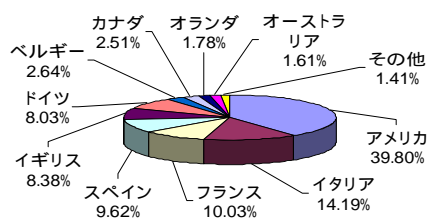
公社債残存別構成比



比率は純資産総額に対する割合です。

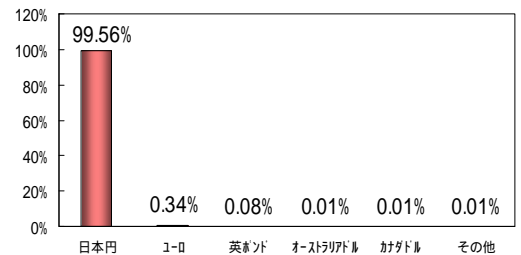
表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

公社債国別構成比



比率は現物債券評価額に対する割合です。

通貨配分



比率は、[外貨建て純資産 - 為替ヘッジ] で計算しており、通貨別にみた実質比率を表します。

騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	0.25%	2.91%	2.89%	2.27%	15.54%	23.19%
ベンチマーク	0.18%	2.59%	2.44%	1.46%	14.37%	24.29%
差	0.07%	0.32%	0.46%	0.81%	1.17%	-1.10%

- 騰落率は、三菱UFJ バランスファンドVA 2.0型(適格機関投資家限定)の設定日以降の期間を対象に表示しています。
- 設定来の騰落率は、三菱UFJ バランスファンドVA 2.0型(適格機関投資家限定)の設定日(2006年12月11日)を起点として計算しています。

ポートフォリオプロフィール

	ファンド	ベンチマーク
残存年数	7.85年	7.77年
修正デュレーション	6.08年	6.08年
複利利回り	1.75%	1.73%

- 数値は、債券現物部分について計算しています。
- 「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
- 「複利利回り」とは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- 利回りは、計算日時時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1 17 3
TEL: 0120 153 193
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

【取扱者(生命保険募集人)】

株式会社三菱東京UFJ銀行

保証金額付特別勘定年金特約(終身型)付変額個人年金保険(06)のリスク及び諸費用について

【投資リスクについて】

この保険は積立金額および年金額等が特別勘定資産の運用実績に応じて変動(増減)するしくみの変額個人年金保険です。特別勘定資産の運用は、投資信託を利用して国内外の株式・公社債等で行なっており、株式および公社債の価格変動と為替変動等に伴う投資リスクがあります。特別勘定資産の運用実績が積立金額に直接反映されますので、運用実績によっては、ご契約を解約した場合の払い戻し金額等が一時払保険料等を下回る場合があります。

【諸費用について】

【積立期間中および年金支払期間中】

項目	費用	ご負担いただく時期
契約初期費用	ご契約の締結等に必要の費用 一時払保険料に対して5%	ご契約時、特別勘定に繰り入れる前に、一時払保険料から控除します。
保険契約管理費	既払年金累計金額と死亡一時金額の合計金額の最低保証、死亡給付金額の最低保証、災害死亡給付金額のお支払い、ならびに、ご契約の維持等に必要の費用 特別勘定の積立金額に対して年率2.3%	毎日、特別勘定の積立金額から控除します。
運用関係費	特別勘定の運用等に必要の費用 投資信託の純資産額に対して年率0.294%程度(～3/31) 年率0.3024%程度(4/1～) (税抜0.28%程度)*	特別勘定にて利用する投資信託において、毎日、投資信託の純資産額から控除します。

*運用関係費は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、お客さまにご負担いただく手数料には、信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等の諸費用がかかりますが、これらの費用は運用資産額や取引量等によって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。また、これらの費用は各特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。運用手法の変更・運用資産額の変動等の理由により、将来変更される可能性があります。

【一般勘定年金支払期間中】

「年金払特約(06)」により遺族年金をお受け取りいただく場合を含みます。

項目	費用	ご負担いただく時期
年金管理費	年金のお支払いや管理等に必要な費用 年金額に対して1.0%*	年金支払日に責任準備金から控除します。

*年金管理費は、将来変更となる可能性があります。


この商品にかかわる費用の合計額は「契約初期費用」、「保険契約管理費」、「運用関係費」の合計額となります。一般勘定年金支払期間中は、他に「年金管理費」がかかります。

【その他の留意事項について】

受取総額保証金額(終身型)

受取総額保証金額の最低保証は、年金を特別勘定終身年金でお受け取りいただく場合に限られます。特別勘定終身年金以外の方法でお受け取りいただく場合や、積立期間中にご契約を解約される場合、もしくは年金受取期間中に積立金額を一括でお受け取りいただく場合には、お受け取りになる金額が一時払保険料を下回る場合があります。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1 17 3
TEL: 0120 153 193
アクサ生命  <http://www.axa.co.jp/>

【取扱者(生命保険募集人)】

株式会社三菱東京UFJ銀行